



元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい

せのうえ

瀬上小学校だより

令和6年3月21日(木)
第26号(地域回覧版)
文責:校長 高橋哲也

卒業、修了、おめでとうございます！

本日、1日ほど早く修了式を行いました。

明日は、いよいよ卒業式となります。

1年生から5年生476名の修了、そして、6年生80名の卒業、おめでとうございます。

この1年間、子どもたちは学校や学級、ご家庭での生活をとおして、しっかりと成長しました。その中でも、特に、私がうれしく思っていることは、次の2つです。

1つ目は、昨年12月に行った学校アンケートでの子どもたちの回答結果です。

「学校生活が楽しい」の項目への肯定的な回答がとても高く、多くの子どもたちにとって、楽しい学校、楽しい学級になっていることがわかりました。

これは、学校として、何よりもうれしいことです。

ただ、よろこんでばかりもいられず、新たな課題も見えてきました。

課題の1つ目、回答結果がよかったとはいえ、100%ではなく、全員が「学校生活が楽しい」と感じているわけではないということです。

ここを見落としてはいけません。

今後も、全員にとって「楽しい学校」になるよう、より深く細やかに子どもたち一人一人を見取り、しっかりと支えることができる体制を整えていきます。

課題の2つ目は、子どもたちが「学校生活のどこに楽しさを感じているか」という点です。

きっと、多くの子どもたちは「友だちとのかかわり」に楽しさを感じていることでしょう。

これは、とても大切なことです。

ただ、学校としては、子どもたちに「学ぶ楽しさ」も同じように味わわせたいと思っています。

来年度も、授業の改善、授業力向上に努め、子どもたちに「できて楽しい」「わかって楽しい」という気持ちをもたせることができるようにがんばります。

うれしかったことの2つ目、それは、子どもたちの“あいさつ”がとてもよくなったことです。

この1年間、学校では「気持ちのよいあいさつ」を呼びかけてきました。

3学期には「あいさつ日本一」というめあても掲げました。

これらの呼びかけやめあてに向かって、子どもたちはしっかりとがんばりました。

廊下ですれ違ふと、「おはようございます」「こんにちは」と、進んであいさつをする子どもが増えました。

あいさつといっしょに会釈をする子ども、教職員ばかりでなく下級生にもやさしくあいさつする上級生も見られるようになりました。

まだまだ「あいさつ日本一」とはいえませんが、確実に近づいています。

これからも働きかけを続け、「学校でも地域でも気持ちのよいあいさつができる子ども」を育てていきたいと思っています。

今年度の教育活動へのあたたかいご理解とたくさんのご協力に、心から感謝いたします。

保護者の皆様、地域の皆様に支えていただき、瀬上小学校にしかできない、瀬上小学校だからできる教育活動を進めることができました。

進級、進学する子どもたちの明るい未来を心からお祈りして、1年間のお礼の言葉といたします。

令和5年度、大変お世話になりました。ありがとうございました。